

基礎講座

第45回

アフリカ開発会議 TICAD

—元氣なアフリカを目指して—

アフリカは、最近も「アフリカの角」地域や、サヘル地域を襲っている干ばつにより多くの子どもたちが重度の栄養不良により命の危機に晒されている状況です。しかし、その一方、アフリカは近年、民主化や経済成長の進展等、政治・経済の両面で明るい兆しも現れています。本年6月には横浜において、アフリカの開発問題を討議する国際会議であるTICAD（アフリカ開発会議）の第5回会議が開催されます。この会議の意義は何でしょうか。私たちはこの会議にどう関わると良いのでしょうか。考えてみたいと思います。



TICADとは？

TICADとは、Tokyo International Conference on African Development（アフリカ開発会議）の略称であり、1993年より、5年に1度、日本が主導して、国連や世界銀行等と共催するアフリカ開発の重要性を喚起する国際会議です。

1993年の第1回会議では冷戦が終了し、薄れつつあった国際社会のアフリカへの関心と呼び戻す目的がありました。それ以降TICADはアフリカ開発に伴う優先課題について合意を得る「プロセス」として成長し、アジアやアフリカの国々にとっては、共同で取り組むことのできるグローバルなプラットフォームとして機能しています。

TICADの目的は、1) アフリカ諸国首脳と開発のパートナー間のハイレベルな政策対話を促進し、2) アフリカの自助努力による開発イニシアティブのための支援を結集することです。

現在TICADは、アフリカの「オーナーシップ（自助努力）」と国際社会の「パートナーシップ（協調）」を基本原則とし、アフリカの開発の推進に向けたイニシアティブの実施を促進する主要な国際的枠組みとなっています。TICADプロセスの主要機能は、過去5年間に於いて達成されたプロセスの評価と、日本およびアフリカ間で合意された優先順位に基づき、次の5年間に於ける活動プログラムの合意をすることです。

前回、2008年に開催された第4回会議には、41名の国家元首・首脳級を含む51か国のアフリカ諸国や、34か国のアジア・欧米諸国、74の国際機

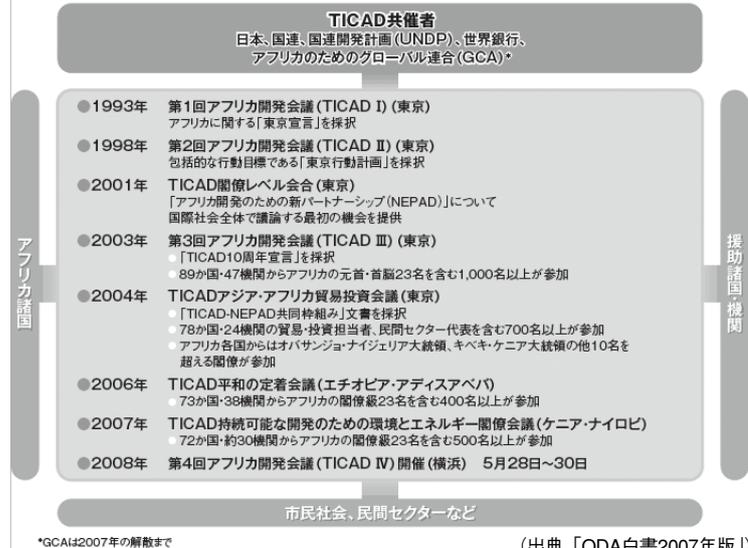
【図表①】

| アフリカ(サハラ以南)の国内総生産(成長率) | | | |
|--------------------------|-------|-----------|-----------|
| | 2010年 | 2011年(予期) | 2012年(予期) |
| アフリカ全体 | 5.4% | 5.2% | 5.3% |
| 石油輸出国 (ナイジェリア、アンゴラなど) | 7.3% | 6.0% | 7.2% |
| 中所得国 (南アフリカ、ボツワナなど) | 3.1% | 3.5% | 3.7% |
| 低所得国 (エチオピア、ガーナなど) | 5.8% | 5.9% | 6.5% |

(IMF報告などから作成)

(NHKウェブサイトより)

【図表②】 TICAD プロセス



関の代表、NGOの代表等3,000名以上が参加しました。

TICADの開催により、アフリカ開発の重要性が全世界で共有され、アフリカの人々の生活が向上することが期待されています。

外務省・文部科学省後援 「アフリカのことを学ぶ日」キャンペーン

アフリカは今、高い経済成長率を示し、今後一層の経済成長が期待されています。しかし一方で、2015年の国連ミレニアム開発目標(MDGs)目標年まで残り僅かとなる中、5歳未満児死亡率や妊産婦死亡率の削減などの基本目標に対し、多くのアフリカ諸国で、その改善が遅れています。世界の5歳未満児死亡率の最新推計値でも、5歳未満児死亡率が高い上位5カ国はアフリカの国々が占め、ユニセフも年間予算の半分以上を、アフリカの子どもたちの支援のために充当しています。ユニセフではTICAD V開催の機会を捉え、経済成長の陰に隠れてしまいがちな、アフリカの子どもたちの問題を広く訴求していきます。

その取り組みの一つとして「アフリカのことを学ぶ

日」を提案します。アフリカに関して学ぶ事は地球市民意識の醸成に重要です。多くの難問を抱える現代、アフリカについて学ぶ事は国際理解や協力の心を育む力となります。全国の学校で、特に5月~6月の間に、「アフリカのことを学ぶ日」を設けてもらい、アフリカに関する理解、関心を高めるのは、日本の子どもたちの「地球市民」としての自覚を促す事になるのです。

現在、アフリカ諸国の大使やユニセフの現地事務所職員が学校を訪問して講演したり、インターネット通信を利用したアフリカの子どもとの対話、各種イベントなどを企画中です。内容が決まりましたら、当協会ホームページ等でご案内させていただきます。



©UNICEF/NYHQ2009-2616/Pirozzi
元気に遊ぶアフリカの子どもたち

TICAD V (2013年)

本年6月1日~3日、横浜においてアフリカの「成長の加速化」を主要議題の一つに掲げ、TICAD Vが開催される予定です。今年は、アフリカ連合の前身であるアフリカ統一機構(OAU)が発足した時から数えて50周年となる佳節の年でもあります。TICAD Vは、TICADプロセス20周年を記念する節目の会合であるとともに、アフリカ連合委員会(AUC)が初めて共催者として参加する首脳級会議となり、アフリカ開発に関する宣言や行動計画が発表される見込みです。さらに、学校などの様々な団体の展示や、インターネットを介してのTT授業など、会議中や会議前後にいろいろなサイドイベントも計画されています。